

岐阜県代協ニユ

平成28年9月
vol.258



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

あぜち まさはる

会長 畦地 正治

暑い夏が終わり、セミの合唱に代り、虫の音とともに過ごしやすい季節の訪れです。秋といえば色々な秋のあり方がありますが、色付く葉の鮮やかさに心奪れ、鮮やかさを目で楽しむ紅葉の秋、晴天の日が多く過ごしやすく出かけるのに適した行楽の秋、心と体をリラックスさせる効果があり、52年前の東京オリンピックがきっかけで、根付いたスポーツの秋、燈火の下で読書するのに適しているといわれる読書の秋、多くの美術公募展がこの時期に開催されることから芸術の秋・・・

しかし、やはり私の中で一番に思い浮かぶのは『食欲の秋』です。秋はおいしいものの旬が満載でついつい食欲も増してきてしまいます。

現代では年中なんでも食べられますので、忘れそうになる旬の食べ物ですが、旬の食べ物が美味くないわけがないのです。秋鮭、秋刀魚、牡蠣、栗、柿などがスーパーなどの店頭で並ぶと「秋」を感じずにはられません。

そして私個人的に外せない一品がキノコです。中でも言わずと知れた日本でのキノコの最高峰の松茸です。人工栽培する事が難しく、今なお、自然発生している物を採取し出荷されているため、非常に高価なキノコとなっていますが、私の幼いころはもう少し安価だったように思います。

焼きマツタケ、土瓶蒸し、マツタケご飯、日頃の疲れをいやすご褒美ごはんとして食すことが楽しみです。



さて、私は『食欲の秋』ですが、岐阜県代協の秋は『自己研鑽の秋』となっています。9月27日の岐阜支部第2回合同ブロック会セミナー「損保代理店における生保クロスセル」をはじめに、タレントの麻木久仁子氏にご講演いただく10月14日の平成28年度公開セミナー「家族の絆～病を乗り越えて～」、10月28日は日本損害保険協会主催の地震保険50周年セミナーとして名古屋大学・減災連携センター 福和センター長と、一般社団法人日本損害保険協会 常務理事による2部講演、そして11月22日にはエース損害保険(株)黒田朗氏による代理店セミナー「コンプライアンスと代理店の賠償責任・・・トラブル事例を交えて」とセミナーが続きます。開始都合による一部を除き、皆さまにご参加いただけるセミナーです。お知り合いの代協未加入代理店の皆さまもお誘いいただき、たくさんのご参加をお願い申し上げます。

また、日本代協では「全国損害保険代理業国民年金基金」加入推進キャンペーンを実施いたします。期間は10月1日～11月30日の2ヶ月間です。国民年金基金対象者は損害保険代理業に従事する国民年金の第1号被保険者(店主のみならず、ご家族、従業員、三者間契約に基づく勤務型代理店・被統括代理店等におすすめ)ですが、代協会員以外の方も加入できます。

ただし、代協の会員・非会員を問わず、国民年金に加入しており、保険料の納付をしている20歳～55歳(原則)までの方という前提となる条件があります。

詳細、個別の問題については全国損害保険代理業国民年金基金事務局(0120-551-380)にお問い合わせください。目標達成のため、岐阜県代協会員皆さまのご協力をいただきますよう心よりお願いいたします。

1 p・・・会長挨拶／目次	8 p・・・中さんの保険諸国慢遊記(125)	①
2 p・・・スケジュール／事務局より	9 p・・・～保険ジャーナリスト	②
3 p・・・日本代協より	10 p・・・中崎章夫	③
4 p・・・支部活動報告①	11 p・・・『街道シリーズ』(中山道 49) 松尾 一	
5 p・・・支部活動報告②	12 p・・・提携事業者広告掲載①	
6 p・・・会員投稿	13 p・・・提携事業者広告掲載②	
7 p・・・代理店紹介(岐阜支部)	14 p・・・提携事業者広告掲載③	
	15 p・・・委員会報告	

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
9	1	木	CSR	委員会(13:30～)	県代協事務局
	7	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	7	水	教育	委員会(13:00～)	県代協事務局
	8	木	東海ブロック	東海ブロックCSR委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	9	金	東濃	研修会(13:30～)・例会(16:30～)	クアリゾート湯舟沢
	13	火	中濃	例会・勉強会(10:30～)	生涯学習センター
	13	火	飛騨	例会(13:00～)	損保ジャパン日本興亜高山支社
	13	火	企画環境	委員会(11:30～)	サイゼリア
	15	木	東海ブロック	東海ブロック教育委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	21	水	CSR	自賠責保険キャンペーン(8:00～、18:00～)	JR岐阜駅前、JR大垣駅北口
	23	金	CSR	自賠責保険キャンペーン(8:45～)	中日本自動車短期大学
	27	火	岐阜	合同ブロック会セミナー(14:30～)	損保ジャパン日本興亜岐阜支店
10	4	火	岐阜	役員会(12:00～)	岐阜県図書館(レストラン杏)
	4	火	広報機関誌	委員会(15:30～)	まろうど
	5	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	6	木	ゴルフ同好会	ゴルフコンペ(9:00～)	日本ラインゴルフ倶楽部
	6	木	東海ブロック	東海ブロック企画環境委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	7	金	損保協会	『盗難防止の日』キャンペーン(8:00～)	JR岐阜駅前
	11	火	中濃	例会・勉強会(10:30～)	生涯学習センター
	11	火	飛騨	例会(13:00～)	損保ジャパン日本興亜高山支社
	13	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	14	金	教育	秋のセミナー(13:30～)	長良川国際会議場
	20	木	岐阜	岐阜東ブロック会(12:00～)	かのに華
	21	金	岐阜	岐阜西ブロック会(12:00～)	ひしの寿司
11	22	火	企画環境	代理店賠償セミナー(13:00～)	メディアコスモス

★『平成28年度 秋のセミナー』開催のご案内★



開催日時：平成28年10月14日(金)(13時30分開場)

開催場所：長良川国際会議場 4F 大会議室

〒502-0817 岐阜市長良福光 2695-2 ☎ 058-296-1200

演題：『家族の絆 ～病を乗り越えて～』

講師：麻木 久仁子(あさぎくにこ)氏 (タレント)

今年度は公開セミナーにての開催となります。会員の皆様方のお知り合いの代理店の方も
お誘いいただき、是非たくさんの方の参加をお待ちしております。

なお、会場準備の都合もございますのでお早めにお申し込み下さい。

岐阜県代協事務局

TEL：058-329-0050 FAX：058-329-0040

Eメールアドレス：gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当：小川百合子)

今回は、「帳票類の保管」に関する Q&A です。

Q2 【保険募集管理（3）】

保険代理店が保管する帳票類と掲示物について、注意点を教えてください。

A2（1）保険代理店が保管する帳票類について

保険会社から配布されるコンプライアンスマニュアルに、以下のような分類で記載されています。

（注）下記は例示。保険会社により内容は異なるので、必ず確認すること。

①保管義務のある帳票類（例）

- ・委託・登録関係書類…代理店委託契約書、手数料規程、募集従事者リストなど
- ・募集基盤関係…勧誘方針、プライバシーポリシー、個人情報取扱規程、個人データ管理台帳など
- ・帳簿関係…収支明細表、保険料照合表、保険料領収証控など
- ・自賠償関係…自賠償保険料集計表など
- ・顧客管理関係…申込書控、お客様の声対応簿など
- ・勤務型代理店等関係…業務委託契約書など
- ・体制整備関係…社内規則など

②保管してはいけない帳票類（例）

- ・告知書などの体況を記した帳票
- ・保険金請求書、給付金請求書などの傷病名が記載された帳票など保管義務のある帳票類については、保険会社の業務点検、外部による監査などで現物確認をされますので、定期的なメンテナンスによる突き合わせが必要です。

また、主にセンシティブ情報が含まれる保管不可の帳票類については、募集人がコピーを取り、個人的に保管しているケースや事務担当の方がうっかり申込書とともにコピーを取ってファイルしてしまうケースが散見されますので、社内の自己点検で確認することが必要です。

（2）保険代理店の掲示物について

店内に掲示しておく帳票類は、来店されるお客様に見える場所に掲示すること、並びに、お客様が誤認される内容になっていないことについて、注意が必要です。

具体的には、次の通りです。

① 店頭備え付けの商品関連のパンフレット、チラシ類

「代理店名、住所、電話番号」が漏れなく記載されているか。

（注）募集人が募集の際に持ち出す場合も同様です。

② 勧誘方針

店頭など顧客が見やすい場所に掲示されているか。

③ プライバシーポリシー（個人情報取扱規程）

記載すべき項目に漏れはないか、また取扱保険会社が漏れなく現在の社名で記載されているか。

（注）合併前の旧社名のまま記載されていることが散見されますので、定期的なチェックと確実な修正が必要です。

④ ディスクロージャー誌（所属保険会社から配布されている場合）

店頭など顧客が見やすい場所に置かれていて、かつ、最新版であるか。

以上

〔日本創倫株式会社 専務取締役 IC オフィサー 事業部長 風間 利也〕

〔配信：日本代協事務局〕

支部活動報告

【岐阜支部 9月役員会報告】

開催日時 : 平成28年9月7日(水) 12:00～ 開催場所 : 県図書館 レストラン杏
参加者数 : 12/16名 報告者 : 井戸貴之

《議題》

- ① 9月セミナーについて
9/27(火) 損保ジャパン日本興和岐阜支店にてセミナー開催予定、その後懇親会開催予定
- ② 10月各ブロック会について
東ブロック 10/20(木) 12:00～ かにの華、西ブロック 10/21(金) 12:00～ひしの寿司
- ③ 10/14 秋の公開セミナーの件
300名の募集の為役員手分けして参加者を募集する。チラシを保険会社に配るようお願いする。
- ④ 11/22 賠償セミナーの件・・・まだ日があるのでチラシは10月に配布。
- ⑤ 日本代協コンベンションの件・・・参加者は木村さんと松野さん
- ⑥ 県代協より報告・・・ 9/21 岐阜駅前8:00 自賠償キャンペーン
10/7 岐阜駅前 7:30 盗難防止の日キャンペーン

※次回開催予定 10/4(火) 12:00～ 県図書館 レストラン杏にて

【西濃支部 9月例会報告】

開催日時 : 平成28年9月7日(水) 11:30～ 開催場所 : 大垣「五右衛門」
参加者数 : 14名 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

- ① JCM 山本氏による「K1プラン」の説明と質疑
- ② 委員会報告
 - <企画環境> ・代理店賠償セミナーの案内と参加要請・・・11月22日(火) 13:45分～
・ドコモ、AUの保険販売のその後の情報
 - <広報> ・テレビM事業について
 - <CSR> ・キャンペーンの案内と参加要請
無保険車追放キャンペーン・・・9月21日(水) 18:00～ 大垣駅北通路
盗難防止キャンペーン・・・10月7日(金) 7:30～岐阜駅前
 - <教育> ・平成28年度秋の公開セミナーの案内と参加要請・・・10月14日(金)
当日参加者はほぼ出席。さらなる勧誘を依頼
 - <組織> ・新役員オリエンテーションの報告
- ③ 県代協
 - ・日本代協コンベンション参加要請・・・(有)大垣総合保険 Plus One 様予定
 - ・代協ゴルフ同好会コンペの案内・・・10月6日(木) 日本ラインゴルフ倶楽部
 - ・岐阜支部第2回合同ブロック会セミナーの案内と参加要請・・・9月27日(火)
 - ・「地震保険50周年セミナーの案内と参加要請・・・10月28日(金)
- ④ 秋の研修旅行
 - ・11月13日(日)～14日(月) 滋賀県湖西方面と比叡山・・・10月例会にて詳細決定

※次回例会 10月5日(水) 11:30分～ 大垣「五右衛門」にて

【中濃支部 9月例会、研修会報告】

開催日時 : 平成28年9月13日(火) 10:30～ 開催場所 : 美濃加茂市生涯学習センター
参加者数 : 8名(出席率24%) 報告者名 : 福地 誉

《議題》

- ① 9月23日(金) 8:45～中日本自動車短期大学にて、自賠償保険無保険車追放キャンペーンを行う。
- ② 9月27日 岐阜支部主催の合同ブロック会セミナーについて
- ③ 「みなさまの保険情報」の利用、活用について
- ④ 10月14日の公開セミナーへの参加依頼(支部として30名の参加を目標とする。)

- ⑤ 11月22日の代理店賠償セミナーについて
- ⑥ 11月4、5日の、日本代協コンベンションについて
- ⑦ 富士火災保険より2名お越しいただき、法人開拓についての研究会を行いました。
- ⑧ JCMの山本支店長より、キャンペーンの案内をしていただきました。

※次回例会予定 10月11日(火) 10:30より美濃加茂市生涯学習センターにて
研究会と情報交換

【東濃支部9月活動報告】 ○研修会、例会報告

開催日時 : 平成28年9月9日(金)
14:00~16:30(研修会)
16:30~(例会)
開催場所 : クアリゾート湯舟沢
参加者数 : 16名 報告者名 : 安江 努



《研修内容》

救命講習

講師 中津川消防本部 救急課 糸魚川 英幸 様

AEDの使用方法など普通救命講習Iを終了し救命技能を習得した。

《例会議題》

- ・報告事項・・・「みなさまの保険情報」について
「地震保険50周年セミナーin名古屋」について
- ・委員会報告
教育 秋のセミナー「麻木久仁子講演会」の参加依頼、トータルプランナー更新試験について
組織 増強状況について
企画環境 代理店セミナーの参加依頼
広報 CM事業について
CSR 無保険車キャンペーン、消費者団体懇談会、献血、子供110当番について
- ・協議事項・・・コンベンション出席者について 笹山昭さんで承認
- ・担当副会長より・・・理事会報告など

※次回例会予定 10月13日(木) 11:30~ みわ屋にて

【飛騨支部役員会、例会報告】

開催日時 : 平成28年 9月13日(火) 役員会(13:00~)、定例会(14:00~)
開催場所 : 損保ジャパン日本興亜高山支社3F 参加者数 : 8名(役員7会員1名)
報告者名 : 清水 公男

《内容》

- ① トータルプランナー資格更新の件・・・馬場支部長より説明
- ② 《協議事項》《連絡事項》
 - ・ 9/27 岐阜支部合同ブロックセミナーについて(締切9月20日 必着)
 - ・ 10/14 秋の公開セミナーについて
 - ・ 11/22 代理店賠償セミナーについて(締切11月4日)
 - ・ みなさまの保険情報新規利用者募集について
- ③ 各委員会報告
 - ・ CRS・・・ぼうさい探検隊マップコンクールは11月必着で。
 - ・ 広報機関誌・・・12月代理店紹介 タカバンさんで決定、
テレビコマーシャル 11月から 期間 5か月間放映予定
- ④ その他 11/4~5 日本代協コンベンション 熊木さん参加



※次回開催予定日:平成28年10月11日(火) 損保ジャパン日本興亜高山支社3F会議室にて

会員投稿

～人生の節目～

万一に備える保険の大切さが改めて見直されることになった東日本大震災以降、保険の見直しをする人が増えていると感じませんか？

保険営業を初めて10年になりますが、『待ち営業』にならぬようお客様の『人生の節目』の情報収集をし、『提案営業』を、忘れずに頑張っていきたいと思っている今日この頃です。

(1) 就職

就職したからといって、急な大きな保険に入る必要はありません。

万一入院したときに周りに迷惑かけないよう、医療保険に入っておけば安心です。



(2) 結婚

結婚後も子どもが生まれるまではあわてて大きな保険を選ばなくて大丈夫です。

独身時代に夫婦それぞれで入っていた保険に無駄はないか確認しましょう。

(3) 子どもの誕生

一家の大黒柱に万一の事態が起きたときなど、経済的な損失をカバーする保険の必要性がぐっと増す時期。

公的遺族年金や勤め先の保障との兼ね合いで、無理や無駄のない保険選びを。



(4) マイホーム購入

住宅ローンとセットで加入することが多い団体信用生命保険。

万一のときはローン残高が相殺されるので、それまで入っていた保険を減額できることがあります。

(5) 子どもの独立

子どものために入っていた保険を見直すとき。老後の資金作りも検討。

(6) 定年退職

一般に定年となる60歳で保障が切れる保険が多いため、その後の保険を検討しつつ、退職金の活用法も考えたいところです。

上記の節目には、保険代理店のお客様にお付き合い頂きたいですね。

『万一に備えるのは保険だけではない』をコンセプトに。



(匿名希望)

代理店紹介

岐阜支部 株式会社 保険のハイタッチ

<代理店名>

株式会社 保険のハイタッチ

<代表者>

代表取締役 西澤 征平

<所在地>

〒500-8864

岐阜市真砂町 10-14

Tel 058-253-7131

Fax 058-253-3960

E-mail info@high-touch.co.jp



<スタッフ>

9名 (男性 4名、女性 5名)

取締役会長	西澤 恭平、代表取締役	西澤 征平
部長	藤田 将史、店長	西澤 宏江
事務リーダー	森 文子、社員	棚橋 幸代
社員	堀口 里奈、社員	中野 晃輔
パートナー	矢野 慶子	

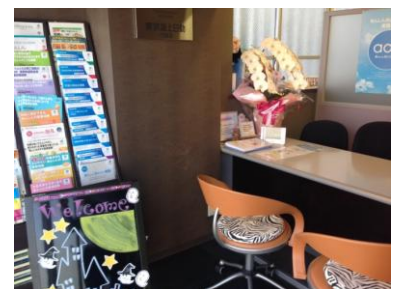
<取扱保険会社>

損保	東京海上日動火災保険株式会社	計 1 社
生保	東京海上日動あんしん生命保険株式会社、 メットライフ生命保険株式会社、 オリックス生命保険株式会社	計 3 社



<略歴>

昭和 44 年 09 月	西澤恭平 個人代理店として創業
昭和 63 年 12 月	「(株)ニシザワ」法人設立
平成 21 年 10 月	「保険のハイタッチ」へ屋号変更
平成 26 年 05 月	「(株)保険のハイタッチ」と商号変更



<事務所の環境>

岐阜駅から車で5分、岐阜市街の商業地域の中心部にあり、アクセスしやすい環境です。

<経営方針>

基本理念

お客様とのご縁を大切にし、お客様に安心と安全をお届けします。

基本方針

親身・誠実な対応を心掛け、お客様から信頼いただける代理店
常に笑顔をやささず、健全な発展に善進する代理店
社員全員がワクワクする夢を叶え、明るい未来を創造できる代理店

自動運転車開発への関心と高まりと多くの課題

◇3世代で利用した軽井沢のコテージ

9月に入って初日、軽井沢にクルマで、長男一家の誘いで行ってきた。幼児を抱えての旅は周囲を気にし、何かと制約されるため、おっくうになりがちだが、そんな気兼ねもなくのびのび滞在できる宿が見つかった。ザ・プリンス・ビラがそれ。駅南口のアウトレットやゴルフ場、冬場はスキー場などプリンスホテルグループが展開する広大な敷地の中にある。ショッピングやレストラン街も充実しており、アウトレットも自然環境にマッチするようにレイアウトも工夫され、家族連れで滞在するには素晴らしい環境である。

このザ・プリンス・ビラのコテージはテラス（平屋）、メゾネット（2階建て）、メゾネットスパ（2階建て露天風呂温泉付）の3種で、全部で20棟あるが、今回は、6ヵ月の幼児付きで大人5人（最大8名まで利用可能）で安心して泊まれるメゾネットスパタイプを選んだ。結構な料金だが、別荘などを所有するより、肩ひじ張らず、各地の素敵な環境の整備されたコテージを気ままに利用する気楽さと割り切るなら、今風の合理的なスタイルなのかもしれない。夏のシーズンの料金設定から通常料金に変更になった初日に利用した。整備された広々とした林の中にあり、とくにコテージ間が離れておりプライバシーが守れる環境となっており、建てられて2年とまだ新しいのがよい。このコテージにはリビングのほか、3つのベッドルームがあり、それぞれにテレビ、トイレ、洗面所、浴室が用意されており、さらにジャグジー風呂と露天温泉の壺風呂が用意されている。また幼児用のサークルやベッドもあり至れり尽くせりであった。

軽食はセンターハウ斯拉ウンジで自由にとることができ、アルコール含め種類が豊富なドリンクサービスも用意されていてありがたい。また宿泊者専用の温泉施設（フォレストホットスプリング）もある。敷地内の送迎は24時間、時速14キロまでの電気自動車（カート）で送迎してくれ、ショッピングや駅など施設外に出かける時は車で送迎してくれる。広大な敷地内を散策するのに、電気自転車等の貸し出しサービスもあり、なかなか楽しめた。こうしたコテージを利用しての3世代家族でたまには団らんするプチ贅沢も悪くないな、と思った。

◇自動運転と運転者の存在の有無

自動運転（自動走行）に関する話題に事欠かない時代になった。自動運転を巡ってはグローバルな開発競争も熾烈化し、マスコミ報道などでも盛んに取り上げられているものの、その使われ方はイメージ先行で、大きな混乱もあり、改めてその定義の理解が必要になっている。

現在、ジュネーブ条約をもとに現行の各国の道路交通法制では、運転者（ドライバー）の存在が大前提である。米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）が2013年5月に示し、我が国でもSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）による自動運転4段階の定義によれば、クルマの運転という一連の制御（コントロール）プロセスを認識、判断、制動に分け、これらの一連の関連する機能を、運転者（人）とAI（人工知能）の運転操作（加減速、ハンドル操作、ブレーキ操作）のかかわり方で、4つの段階（レベル）に分けて規定している。

◇「自動運転」の4つの段階

レベル1は、特定機能の自動化として、運転者が主で、AIシステムは、運転支援機能として、いずれかの操作を一つ支援する機能を搭載した段階で、まさに現在市販されている安全運転支援機能を有するプレミアムカーで採用されるところとなっているが、あくまで運転者責任で利用するものである。

レベル2は、複合機能の自動化の段階で、加減速、ハンドル操作、ブレーキ操作のうちの複数の運転操作をAIシステムで行うもので、準自動運転とも呼ばれ、安全運行の主導権はあくまで運転者側にある。このレベルでも運転者責任がまず求められる。

レベル3は、半自動運転とし、AIシステムで、加減速、ハンドル操作、ブレーキ操作などをおこなうオートパイロットを有し、システムからの運転操作切り替え要請がある場合（機能限界になった時）のみ運転者が適切に対応するというもので、いわば条件付き自動運転である。この段階まではすくなくとも運転者の存在が前提になるので、法的には現行法の枠内で考えることも可能である。

レベル4は、完全自動走行システムと言われるもので、自動運転技術の高度化を背景に、運転者が全く関与しない、いわば無人自動運転、遠隔操作も含む段階である。

最近では、欧米では、例えばSAEインターナショナルの定義などに見られるように、このレベル4につき高度な自動化段階（システムからの運転操作切り替え要求に運転者が適切に応じなかった場合でもシステムが車両の運転操作を行う）と完全自動化（運転車でも対応可能ないかなる道路や走行環境条件の下でも常時システムが運転操作を行う）の2つにさらに分けて整理している。

自動運転を巡っては、高速道路や限定地域（特区など）での実用化に向けた公道実証実験が繰り返されつつあり、2020年までには高速道路上でレベル2相当の準オートパイロット搭載車の実用化目標に開発が進められている。また過疎地域などの一般道では、遠隔モデルでの低速・無人自動走行（レベル4）の公道実証実験も始まっている。

◇ソフトウェア開発競争化した自動車産業

9月18日午後9時から50分番組NHKスペシャル「自動運転革命」をご覧になられた方も多かったと思うが、実にタイムリーな企画であった。そこでは、自動運転の開発競争が、まさに新たなインターネット産業革命（IoT=モノのインターネット）として、グローバルなレベルで熾烈な開発競争として展開されている様が紹介されていた。中でも最先端のIT技術、ビッグデータや人工知能(AI)を縦横無尽に活用しての展開が始まっている。

今回の特集では、日産の技術開発センターに密着取材し、今や車は先端技術の粋のカメラや近接センサーで情報武装されたものと化していること、自動運転車の開発への取り組み、従来のハード主体の、燃費技術開発競争から、今やソフトウェア開発競争化している現状が紹介される。まさに車の安全走行に必要な認識、判断、制御という一連のプロセスをシステム化し、その精度をいかにあげるか、公道や私道での実証実験を繰り返しての、実用化に向けての熾烈な開発競争が始まっている現状の一端が紹介されている。

また、自動運転技術分野でアウディやベンツ、BMWなどドイツ勢が優勢に展開し狙うは自動運転における世界の自動車市場制覇であること、米国巨大IT企業のGoogleが、厳重な取材規制をかけ、ビッグデータと人工知能を活用してレベル4の完全自動運転車開発で先行し、公道で実証実験を強力推進し膨大なデータ蓄積を図る一方、「自動運転システムのプロバイダー」として、スマホのアンドロイド同様、頭脳部分のソフトを各自動車メーカー 日産では世界トップクラスのカメラによる画像認識技術を持つイスラエルのモビルアイを提携先に選び共同で画像認識技術開発を行っていること、日本のミラー供給業者も自動運転の時代が到来すれば、カメラにとってかわられることは必至と生き残りをかけ電子ミラー(カメラ搭載ミラー)の開発に取り組むなど新たな活路模索が始まっていること、ドイツコンチネンタルが、タイヤから今やカメラや近接センサーなどの部品供給面で優位性を確立していること、など自動運転は車の部品メーカーにとっても大きな変革をもたらしていることが紹介された。

最後に日産が高速道路で自動運転機能搭載車セレナ(レベル2)を販売開始したことを紹介し、世界は自動運転社会に向け歩みを開始、自動運転は夢の技術から現実の技術への転換点を迎えた、と番組は結んでいる。

◇解決せねばならない様々な課題

自動運転といっても、運転者中心と人工知能中心という2極で整理し、かかわり具合、色合いの違いから、レベル1からレベル4までの4つの段階わけで定義されている。現在は運転者の存在を前提にし、自動運転機能を部分的に活用するレベル2から条件付きで活用するレベル3をめぐる開発で世界のメーカーがしのぎを削っている。その一方で、運転者の存在を前提とせずハンドルやアクセル、ブレーキなどが格納されているレベル4の車の開発も進められている。こうした中で、自動運転車の行く手には、高速道路などはともかく、とりわけ、人や車が激しく行き交い、交差点や様々な条件が加わる市街地エリアでの走行では、車のみならず、様々な道路状況、自転車や歩行者などの動きを予想しての対応も求められ、乗り越えねばならない課題も多い。

◇衝撃与えた米国での自動運転（レベル2）中の死亡事故

それを象徴するように、米国で自動運転中の死亡事故も発生した。それは、本2016年5月フロリダでのテスラモーターズのEV車モデルSがフロリダ州のハイウェイでオートパイロットでの自動運転走行中(レベル2)、対向車線から側道に出るために左折してきたトレーラーの下に潜り込み、さらに約90メートル走り道路右側ポールに衝突大破し、ドライバーが死亡した。

この事故は、過渡期の自動運転車（レベル2）の場合、自動運転機能への過信は禁物だとするとともに、安全面チェックがおざなりにされたうわっ滑りの開発の現状に、大きな警鐘を鳴らした。

米運輸省道路交通局の事故原因究明が行われる中、9月、テスラモーターズは、強い日差しの下で、白のトレーラーをカメラで認知できず自動ブレーキが作動しなかったことも原因として、死亡事故の再発防止のため、カメラのみならず搭載レーダーを最大限活用し、障害物などを検知する能力を高めたとする新たなソフトウェアを開発したと発表、合わせてドライバーが手放し運転時に警告音が鳴り、一定時間内に3回繰り返すと一時的に自動運転機能が停止する機能を組み込んだとした。自動運転機能はあくまでも補助的なもので、運転者の責任を改めて求めるものとなっている。

◇自動運転を巡る解決すべき課題は多い

今後、自動運転の進展・普及のためには、なお長い期間が必要になるだろうが、そのためには、技術的課題、経済的課題、社会的受容性の課題など多くの問題がある。

まず技術的な課題としては、公道等の実証実験の繰り返し、データの整備により、安全性の制度を上げていくことが求められる。そのためには、難易度が高い夜間、悪天候時や交差点右折などいろいろ想定される走行場面での確実な安全性の確保が求められるところとなる。

また敬座的課題問題としては、道路環境整備や安全運行支援の設備充実など国や自治体、メーカーサイドの仕組みづくりへの資本投入、コスト負担の問題もあるし、高度の安全運転支援機能を装備した自動運転車が当面高コスト化することが消費者ユーザーに受け入れられるかといった問題もある。

さらに、自動運転のレベルが上がるに従い、メーカーと運転者の責任分担をどうするか、とりわけレベル4の運転者の存在が前提とされない場合の責任の所在がどうなるかの法的な整理（新たな法制の準備）、被害者補償制度の在り方なども問われてくる。またAIの自動システム普及に伴い、これまで想定されなかったようなサイバーリスクなどのニューリスク対応ははじめとした新たな対応も必要になる。

◇自動運転での意識調査では期待と不安が半々

こうした中で、現状の自動運転について自動車のユーザーはどのように考えているのだろうか？9月7日発表のMS&ADグループ3社（三井住友海上、あいおいニッセイ同和、インターリスク総研）の「自動運転車および公道実証実験に関する消費者の意識調査」結果によると、自動運転車の実用化にあたっては、交通事故の減少や高齢者等の移動支援、運転負担の低減などに大きな期待が寄せられており、公道実証実験にも賛成する人が多い一方で、自動運転システムの適切な操作や人通りの多いエリアでの走行、自動運転システム故障時の暴走・交通事故など、自動運転技術に対する不安も半数にのぼる、公道実証実験への反対も2割近くある、という結果であった。購入したい層と購入したくない層が同程度となり、自動運転車に対する「期待」と「不安」を反映した結果となった。ただし、まだ普及前の技術であるため、購入判断までには至らず「わからない」と回答した人も4分の1程度あった。

こうしたことから、自動運転の開発に当たっては、闇雲に拙速に走ることなく、安全性に徹し、社会で受け入れられる条件整備に官民挙げて意を用い、道路交通環境の整備や法・制度面の整備を含め、十分な検討が求められるところである。

◇保険業界、代理店への影響

自動運転の開発スピードや事故発生率の変動により、今後、自動車保険市場は大きな変動期に入ることは間違いない。すでに英国やドイツの調査機関では、今後15年から25年といった期間において、損害率激減や自動車保険市場が大幅に縮小すると予測している。日本でも今後の市場への構造的変化が懸念されるのは否定できない。このため、短期的にはさほどの変化は見えなくても長期的には市場が激変し、保険会社、代理店に与える影響は極めて大きくなることは必至である。そのため、いずれは、自動車保険に過度に傾斜した経営は成り立たなくなる。今後間違いなく、自動運転が普及すれば保険料減少は避けられない。そのためにもリスクマネジメントを前提とした生活シーン、事業シーンを念頭に総合的な保険提案を行う代理店モデルの構築が必要である。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

野洲から守山宿・草津宿へ

中山道は、中山道と朝鮮人街道との分岐点があり栄えていた野洲（やす）を離れ、すぐ野洲川に着きます。大名を始め公家や外国使節の通行時には、この川に板橋を掛けていました。また川岸には常夜灯があり夜間、川を渡る旅人に便宜をはかっていた。

野洲川を渡ると中山道は守山宿に入ります。「京立ち守山泊り」といい京都を出発した旅人が最初に宿泊する宿場が守山宿だといわれていますが、庶民は、もう少し東の宿場で宿泊したといえます。当時の旅費の多くは宿泊費が占めていますから、少しでも旅費を節約したいということでしょう。



本陣と脇本陣は、一時には2軒づつあったという大きな宿場で、また物資の集散地として栄えていた所です。

守山にある東門院は、最澄が比叡山延暦寺を建立したおり、東西南北四方に門を設け、そのうち東の門がこの地にあり、いつしか「比叡山の東門として山を守る」ということから「守山」といわれるようになったといえます。さらに坂上田村麻呂が東征のおり戦勝祈願を行ない戦勝したためここに伽藍を建立したのに始まり東門院という寺になったといえます。

中山道は守山宿を離れるとまもなく、今宿の一

里塚に着きます。ここは滋賀県の中山道では、唯一現存する一里塚で、現在、滋賀県指定史跡となっています。といっても南側しか現存してなく、しかも一回り小さくなっています。この一里塚の榎は先代の榎が枯れたあとに脇芽が成長したものなのです。

今宿の一里塚を過ぎしばらく行くと諏訪神社に着きます。この境内の片隅に「従是北宮津領・南淀領」という石碑がありますが、これは宮津藩（京都府）領と淀藩（京都府）領との境にあった石碑なのです。近江は彦根藩、膳所藩など地元近江の諸藩の領地のほか、加賀藩（石川県）など近江以外の大名の領地が数多くありました。この石碑はこれらを象徴しているようです。



中山道は、草津宿に向かいます。途中、現在ではJR東海道本線によって道が一部消えてしまっているので、少し迂回して、JR草津駅前の商店街を通り天井川の旧草津川のガードを潜ると、T型交差点に着きます。ここが中山道と東海道と分岐点です。つまりここが、江戸日本橋から始まる中山道の終着点、草津宿なのです。

（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）。

監修に『岐阜地理・地名・地図の謎』（実業之日本社）、『写真アルバム飛驒の昭和』（樹林舎）がある。



創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175(代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

いつもお世話になっております。 **有限会社 イブカ** です。

※ 365日 24時間 レッカーサービス

どんな事故でも対応致します!



※ 365日 24時間 レンタカー 現場配送サービス

レッカーサービスと同じように御用命下さい。

フリーダイヤル 0120-495-039 携帯電話 090-3309-2925

岐阜本社	岐阜市柳津町南塚4丁目249	TEL 058-393-2524	FAX 058-388-7301
岐阜本荘営業所	岐阜市敷島町 9丁目1-1		
岐阜羽島営業所	羽島市足近町 3丁目 634-1		
岐阜本社工場	羽島郡笠松町門間 726-1		

< 今月の復旧事例 > 北陸ブロック塀の復旧工事



交差点での出会いがしらの事故で、ブロック塀に衝突してしまいました。当たった面だけでなく、左横面もゆがんでしまい二面直す事になりました。壁の後ろの庭は土が盛られていて、作業がたいへんでした。

< 場所 > 石川県小松市地域

< 費用 > ¥548,640- (税込み)



施工前



施工後

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株) イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

情報ツールとして【クルマの下取り・買取りサービス】をご活用ください！

★★★ ディーラーの査定とは違い、**実際の中古車取引相場**で査定します。

車によっては、年式・キヨリに関係なく需要があり、大きく金額に差が出ます！ ★★★

【お客様のこんなときにご利用ください！】

- 車の乗替を検討 : 下取り額が納得できない。下取り額は妥当なの？
⇒ **「ディーラー下取りと比較してみてください！」**
- 売却だけ検討 : どこに売れば？ 高くて信頼できる会社に売りたい！
⇒ **「賛助会員のJCMにお任せ下さい！」**
- ディーラーでは値が付かない・・・ : 引取費用が掛かると言われた。
⇒ **「古い車や事故車でもまずはご相談ください！」**



【岐阜県損害保険代理業協会 賛助会員のJCMなら安心満足！下取りよりもお得】

- ・ 宣伝・店舗等運営コストを抑えて買取り価格に還元、**高価買取り**を致します。
- ・ **無料出張査定**で手間や費用発生心配がありません。ご指定場所まで訪問します。
- ・ **中古自動車認定査定士** (当社社員) が査定にお伺いし、対応いたします。
- ・ 売却を急かしたりせずお客様のご都合・代替のタイミングに合わせて対応します。
- ・ 車両代金は**現金決済も可能、名義変更手続きも無料で確実に**行います。

■■ 株式会社JCM名古屋支店 ★担当 村瀬・安藤 まで ■■

TEL: 052-561-8899 / FAX: 052-561-8893 HP: <http://www.jcmnet.co.jp/daikyo/>

尾鷲市地内 注意喚起標識復旧工事
〈着工前〉



復旧工事費用 190,000 円
〈完成〉



*主要幹線道路に設置された注意喚起標識の復旧工事です。
交通量も多い為、交通誘導員を設置しての作業となりました。

24時間・年中無休の安心対応。Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635 営業所 京都・金沢・名古屋

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.com>

DRPネットワーク株式会社 が提供する「安心サービス」



5つの特典

- 1 引取・解体の作業が無料
- 2 代車が無料
- 3 修理終了後ワンオーナー保証書を発行
- 4 保険を使わない修理は工費10%割引
- 5 年会費・塗装修理 3000円

DRPネットワーク株式会社

〒125-0053 東京都葛飾区鎌倉 3-18-1
TEL:03-3673-5552 <http://www.5552.co.jp/>

事故車の対応・修理は トップネットワークのDRPネットワーク 加盟修理工場におまかせください。

お近くの加盟店工場までお問い合わせください。

- | | TEL | 所在地 |
|--------------|--------------|---|
| A (有)オートライフ | 058-371-8288 | 〒504-0815 各務原市萩原町2-62 前川 真男 090-3159-6615 |
| B ケイズモータース | 058-276-8533 | 〒500-8263 岐阜市高瀬町3-250 河村 健太郎 090-4215-4477 |
| C BP MORIKEI | 0575-28-2284 | 〒501-3956 関市保岡 1631 森 聡 090-8335-5603 |
| D (株)大原自動車工業 | 058-271-5704 | 〒500-8288 岐阜市中郷 2-107 大原 孝司 090-1413-6630 |
| E (有)高山自動車钣金 | 0577-32-2617 | 〒506-0004 高山市相生町 3-160 新井 典仁 090-8958-4967 |
| F (有)大光塗装 | 058-278-7505 | 〒501-6018 羽島市岐西町 7-40 武藤 勝也 090-3258-5906 |
| G 三和钣金(有) | 0572-55-3180 | 〒509-5116 土岐市岐田町矢野町12-4 伊藤 貴秀 090-4112-5330 |
| H 萩原自動車钣金(有) | 0576-54-1111 | 〒509-2518 下呂市萩原町上野2295 露出 英志 090-1296-9560 |

フリーダイヤル 0120-849704

■上記フリーダイヤルにご連絡いただければ、最寄りの特約加盟店よりお見積りいたします。

【組織委員会】 ○新入会員紹介

岐阜支部西ブロック : 秋田保険サービス 代申 三井住友海上火災
店主 三浦 恵実 様
〒502-0071 岐阜県岐阜市長良 1911-6
TEL 058-227-0768 FAX 058-231-4644
(平成28年 9月 1日入会)

【CSR委員会】★どうぶつフェスティバル in 長良川 参加報告

開催日時 : 平成28年 8月 21日 午前9時30分より
開催場所 : 岐阜市長良川河川敷 リバーパークおぶさ
参加者数 : 10名 報告者名 : 高橋 励

《内容》

2015年度グリーン基金を贈呈したNPO法人日本動物介護センター主催のイベントに参加しました。岐阜県のみならず、全国各地から大勢のペット愛好者が集い、ドッグフェスなども開催されているとても大きなイベントでした。そして「じゃがいもくん」がデモンストレーション中に脱走してしまうハプニングがあり、楽しいイベントでした。が、とても暑い一日でした。

岐阜県代協では、パンフレットの配布、ノベルティグッズの配布をして、代協活動の啓発をしてきました。



編集後記

ようやくのぎやすい季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

秋の長雨に悩ませられる中、歩行者が夜間に道路を横断中、車にはねられた昨年1年間の全国の死亡事故625件のうち、96%の車のライトがロービームだったことが警察庁の調査でわかったそうです。ハイビームを使っていれば防げた事故もあったという事を聞き、近年、交通事故による死者は減少傾向にあるというが、やはり夜間の交通事故は絶えないという事実があるんだと実感させられました。夜間に見通しの悪い道などはハイビームにして対向車線の迷惑にならないように、日頃からの運転に気をつけたいですね。

(後藤 哲裕)

発行日/平成28年 9月26日

責任者/畦地正治 発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、北村篤俊、水川博之、後藤信男、後藤哲裕、今津洋平、小倉治実、清水公男
畦地正治、森 信彦